スライディングウォール60 一般

スライディングウォール **SW-60S-G**
スライディングウォール **SW-60S-L**
スライディングウォール **SW-60S-P**

S：パネル表面材がスチール製です。
G：シール方式がギヤー式です。
L：シール方式がレバー式です。
P：シール方式がプッシュボルト式です。

スライディングウォール **SW-60W-G**
スライディングウォール **SW-60W-L**
スライディングウォール **SW-60W-P**

W：パネル表面材が木製です。
G：シール方式がギヤー式です。
L：シール方式がレバー式です。（下部のみシールします）
P：シール方式がプッシュボルト式です。
（下部のみシールします）

特　長

1.木製パネルもラインアップ

従来のスチール製パネルに加え木製パネルを増やしました。

2.最大製作幅1.2m、最大製作高さ3m

最大製作幅1.2m、最大製作高さ3m、最大製作面積3.6m²まで製作可能です。※SW-60Wの最大製作高さは4.8mまでです。

3.意匠に合わせて選べる表装材

パネルの表面仕上げはカラー鋼板の他に、ビニールレザーや布地などの表装材も使用可能です。
※表装材は本体価格に含まれません。

4.走行音の静かなアルミ合金製レールとスチール製レールの2種類

クロスタイプのレールはアルミ合金を使用。パネル移動時の走行音を抑えました。

5.対応性に優れ、用途も多彩

パネル本体に潜戸、黒板、掲示板、窓、ガラリなどの組込みが可能なので、多彩な用途に対応できます。

6.健康への配慮

商品に使用している建築材料はホルムアルデヒドに関して規制した建築基準法をクリアしています。

シール操作の種類

●ギヤー式（Gタイプ）　操作ハンドルを操作口に差し込み回すと、上下部がシールされます。

●レバー式（Lタイプ）　操作ハンドルをパネル側面の木口に差し込み押し下げると、下部がシールされます。

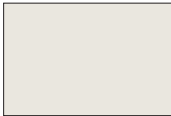
●プッシュボルト式（Pタイプ）　パネル内部のプッシュボルトを先行するパネルに押し付けることで、自動的に下部にシールされます。

仕　様

■仕様

商品名	スライディングウォール60					
商品略号	SW-60S-G	SW-60S-L	SW-60S-P	SW-60W-G	SW-60W-L	SW-60W-P
シール機構	ギヤー式	レバー式	プッシュボルト式	ギヤー式	レバー式	プッシュボルト式
レール・ランナー	クロスタイプまたはアールタイプ					
パネル 表面板	カラー鋼板0.5m/m厚			MDF4.0m/m厚		
パネル 芯材	せっこうボード9.5m/m厚			ペーパーコア		
パネル パネル厚	60m/m（框を含む厚さ:65m/m）					
パネル 重量	標準パネル：16(27)Kg/m²、エンドパネル：16(27)Kg/m² ドア受パネル：16(27)kg/m²、軸吊りパネル16(27)kg/m² 軸吊り丁番パネルA、B 16(27)kg/m² 丁番吊りパネルA、B 16(27)kg/m²、門型ドア付パネル：26(37)Kg/m² L型ドア付パネル：26(37)Kg/m²、サイドパネル：26(37)kg/m²					
笠木形材	アルミ押出し形材(A6063S-T5)					
巾木形材						
召し合わせ形材						
シール形材						
ドア形材						
シールゴム	PVC					

●パネルのm²あたりの重量は、製作寸法により多少異なります。
●重量(　)内は芯材せっこうボードの場合

■パネルカラー（カラー鋼板）

※このカラーサンプルは印刷ですので、実際のカラーとは異なる場合があります。

構造図

■構造図（標準パネル）

スライディングウォール60 一般

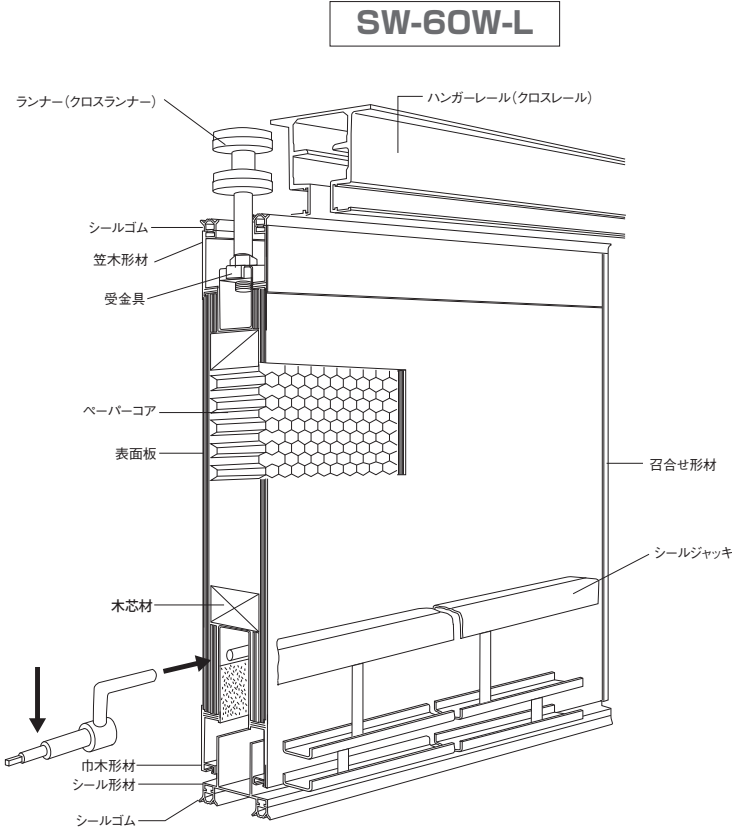
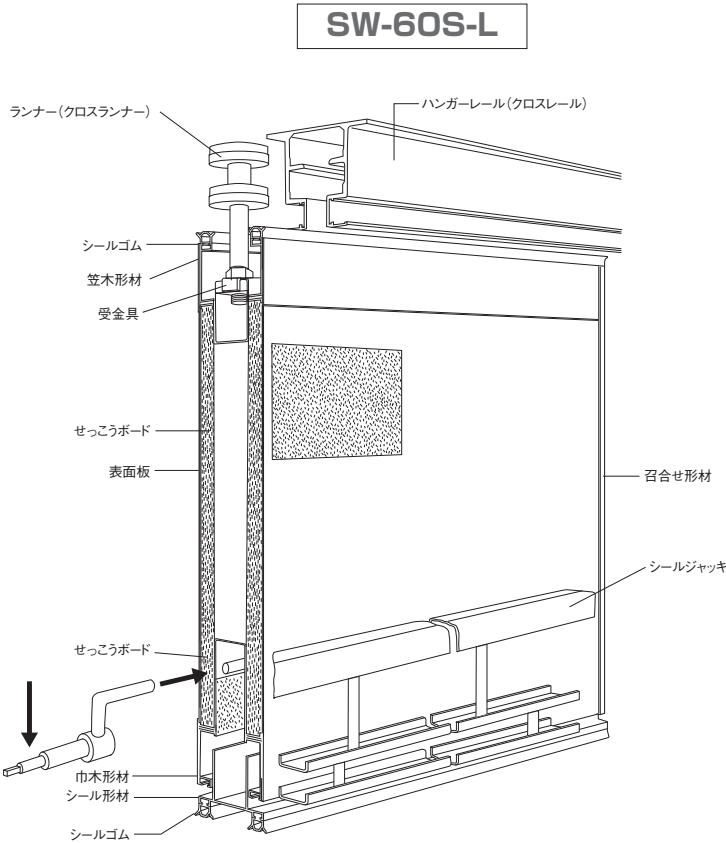
スライディングウォール **SW-60S-G**
スライディングウォール **SW-60S-L**
スライディングウォール **SW-60S-P**

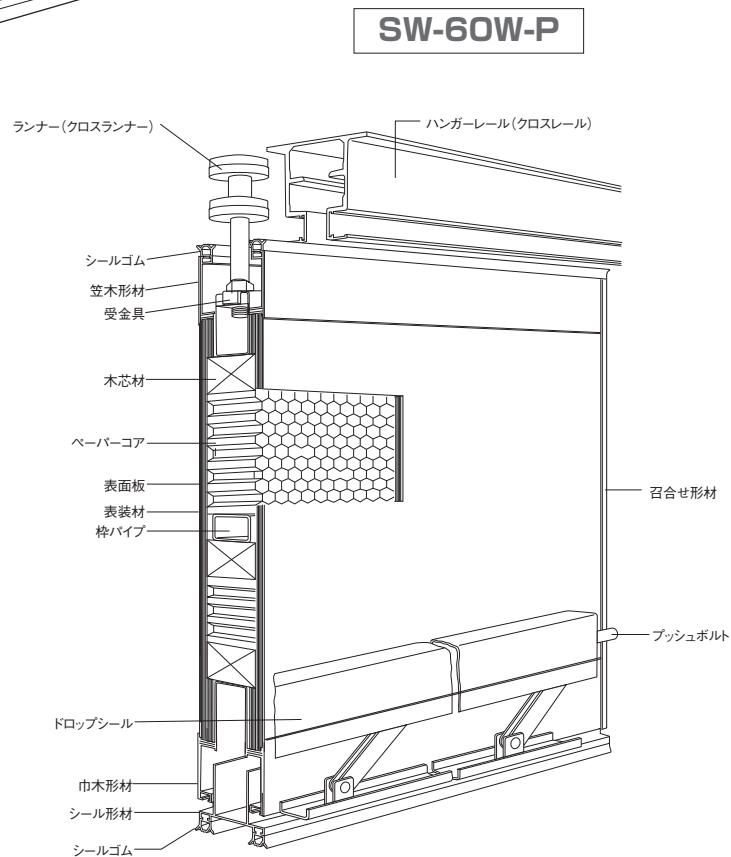
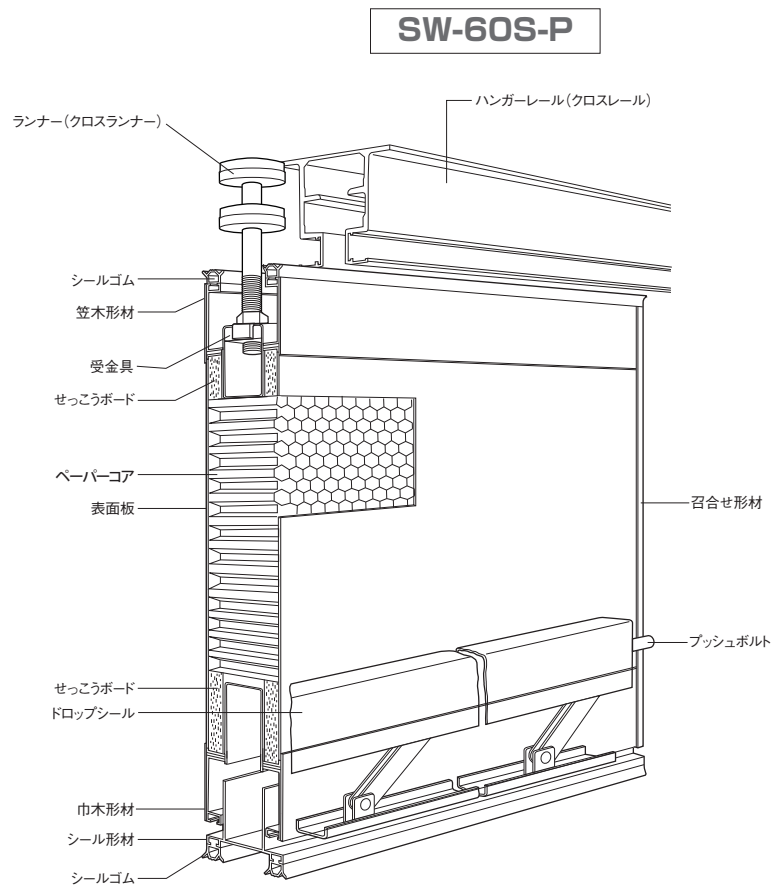
S：パネル表面材がスチール製です。
G：シール方式がギヤー式です。
L：シール方式がレバー式です。
P：シール方式がプッシュボルト式です。

スライディングウォール **SW-60W-G**
スライディングウォール **SW-60W-L**
スライディングウォール **SW-60W-P**

W：パネル表面材が木製です。
G：シール方式がギヤー式です。
L：シール方式がレバー式です。（下部のみシールします）
P：シール方式がプッシュボルト式です。
（下部のみシールします）

構造図

■構造図（標準パネル）

構造図

■構造図（標準パネル）

スライディングウォール60 一般

スライディングウォール **SW-60S-G**
スライディングウォール **SW-60S-L**
スライディングウォール **SW-60S-P**

S：パネル表面材がスチール製です。
G：シール方式がギヤー式です。
L：シール方式がレバー式です。
P：シール方式がプッシュボルト式です。

スライディングウォール **SW-60W-G**
スライディングウォール **SW-60W-L**
スライディングウォール **SW-60W-P**

W：パネル表面材が木製です。
G：シール方式がギヤー式です。
L：シール方式がレバー式です。（下部のみシールします）
P：シール方式がプッシュボルト式です。
（下部のみシールします）

パネルの種類と製作可能寸法

■パネルの種類　← シール方向

・ギヤー式（Gタイプ）は⇡の表示方向にもシールされます。
・レバー式（Lタイプ）、プッシュボルト式（Pタイプ）は、↑の表示のみシールされます。

標準パネル

エンドパネル

ドア受パネル

軸吊りパネル

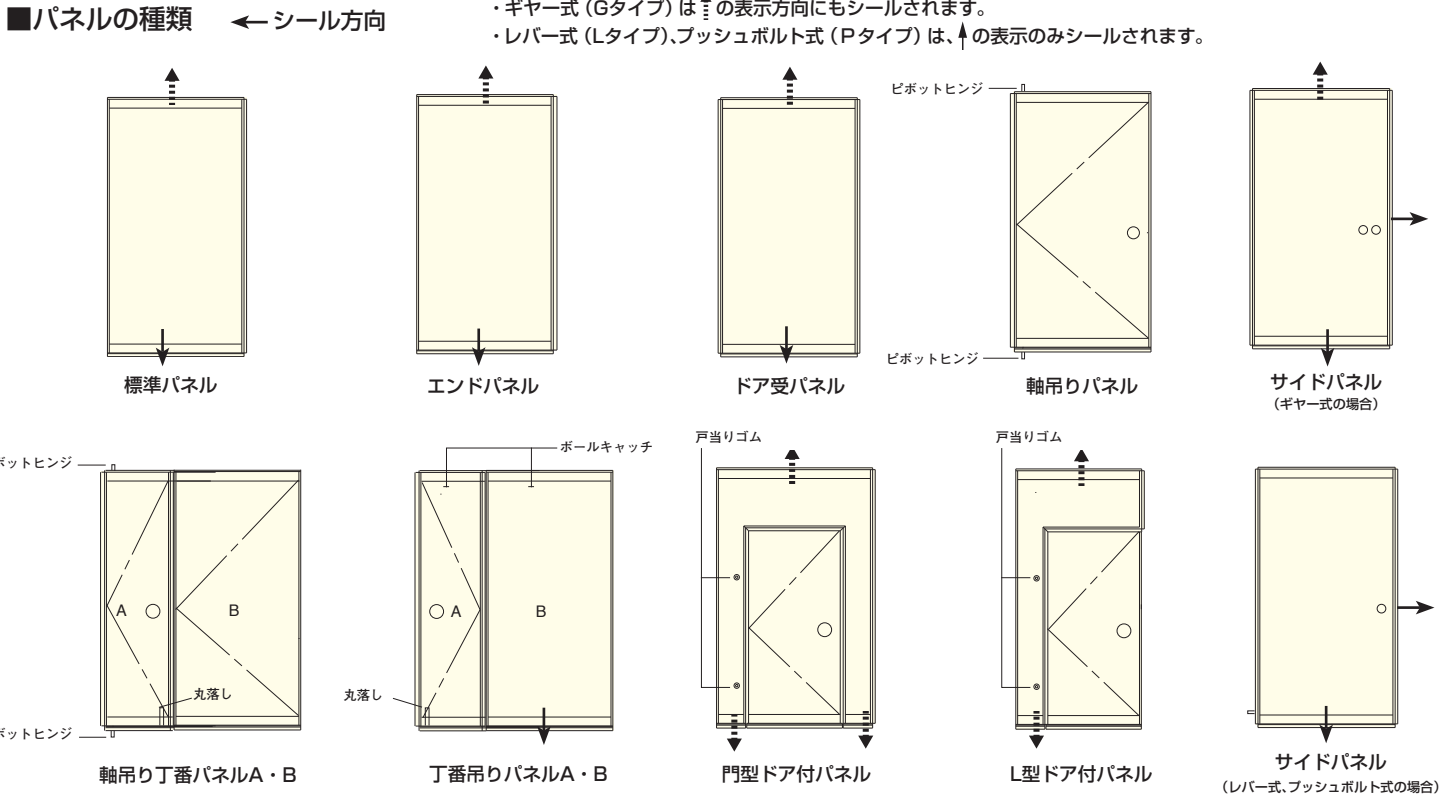
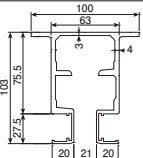
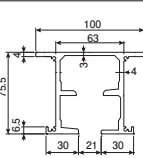
サイドパネル
（ギヤー式の場合）

軸吊り丁番パネルA・B

丁番吊りパネルA・B

門型ドア付パネル

L型ドア付パネル

サイドパネル
（レバー式、プッシュボルト式の場合）

■製作可能寸法とパネル重量　▲のパネルはシール機構が内蔵できません。

	パネル幅（PWm/m）	天井高さ（CHm/m）	パネル重量（kg/m²）		
			60S-L・60S-Gタイプ	60S-Pタイプ	60Wタイプ
標準パネル	700～1,200	1,000～3,000	27	16	15
エンドパネル	700～1,200	1,000～3,000	27	16	15
ドア受パネル	700～1,200	1,000～3,000	27	16	15
軸吊りパネル 軸吊り丁番パネル(A) 軸吊り丁番パネル(B)	▲550～1,200 ▲400～　600 ▲700～1,200	1,000～3,000 1,000～3,000 1,000～3,000	27	16	15
丁番吊りパネル(A) 丁番吊りパネル(B)	▲350～　600 700～1,200	1,000～3,000 1,000～3,000	27	16	15
門型ドア付パネル	1,000～1,200（589～800）	1,000～3,000（～2,000）	37	26	25
L型ドア付パネル	1,000～1,200（593～800）	1,000～3,000（～2,000）	37	26	25
サイドパネル　注①	※800～1,200	2,400～3,000	37	26	25

注①　※SW-60S-P、SW-60S-Lのサイドパネル幅は850～1,200です。

（　）内は、トビラの製作寸法を表します。

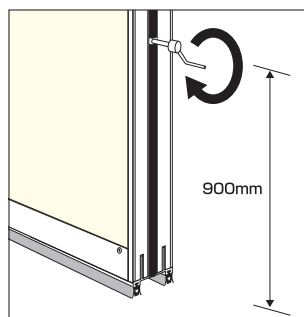
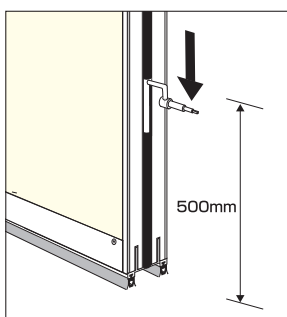
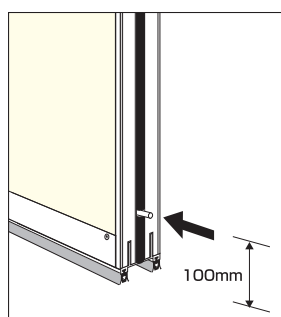
ハンガーレールとランナー

タイプ	クロスタイプ	
種　類	クロス200	
ランナー	クロスランナー200	
レール	クロスレール200 見切り付き仕様	クロスレール200 見切り無し仕様
材　質	アルミ押出し形材 4.5~5.5m/m厚（走行面）	アルミ押出し形材 4.5~5.5m/m厚（走行面）
許容荷重	200kg/枚	200kg/枚

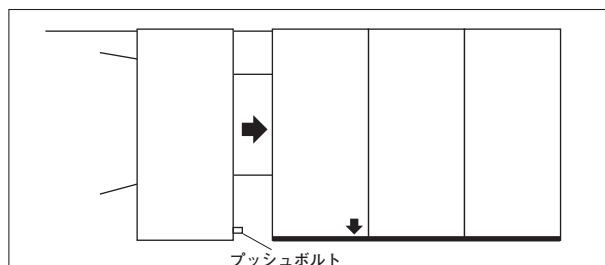
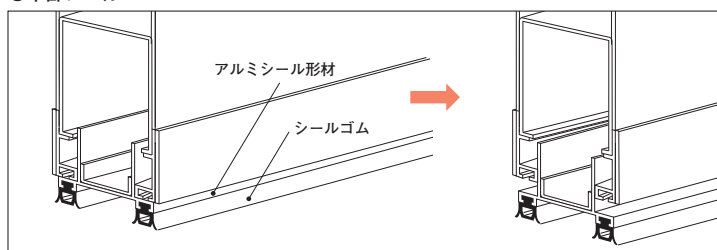
※操作する際には「取扱説明書」をよくお読みください。

パネルのシール機構と操作方法

■標準パネル

ギヤー式
（Gタイプ）

レバー式
（Lタイプ）

プッシュボルト式
（Pタイプ）

■標準パネル・エンドパネル・ドア受パネル、丁番吊りパネルのシール機構

●各パネルに内蔵されたプッシュボルトを先行パネルに押しつけることで、下部シールを行います。

SW-60S-G　SW-60W-L
SW-60W-G　SW-60S-P
SW-60S-L　SW-60W-P

●下部シール　SW-60S-G　SW-60W-G　SW-60S-L　SW-60W-L　SW-60W-P

スライディングウォール60 一般

スライディングウォール **SW-60S-G**
スライディングウォール **SW-60S-L**
スライディングウォール **SW-60S-P**

S：パネル表面材がスチール製です。
G：シール方式がギヤー式です。
L：シール方式がレバー式です。
P：シール方式がプッシュボルト式です。

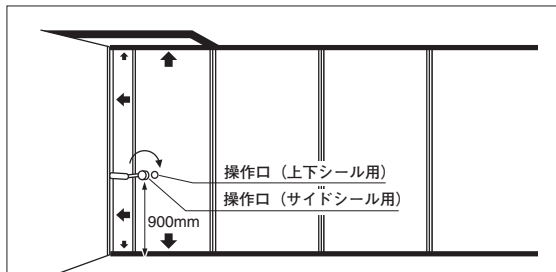
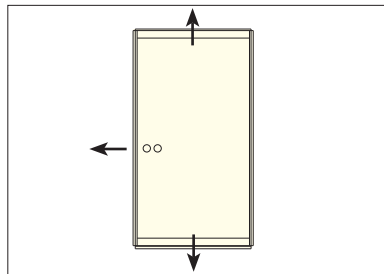
スライディングウォール **SW-60W-G**
スライディングウォール **SW-60W-L**
スライディングウォール **SW-60W-P**

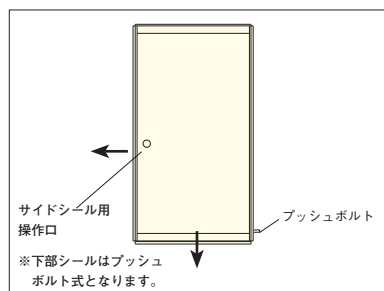
W：パネル表面材が木製です。
G：シール方式がギヤー式です。
L：シール方式がレバー式です。（下部のみシールします）
P：シール方式がプッシュボルト式です。（下部のみシールします）

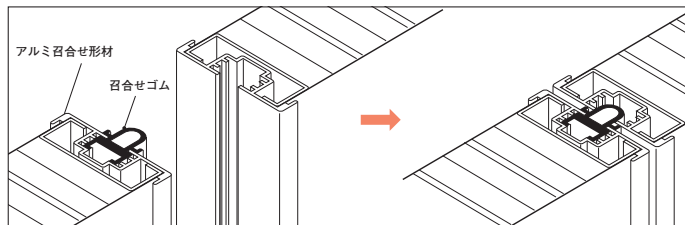
パネルのシール機構と操作方法

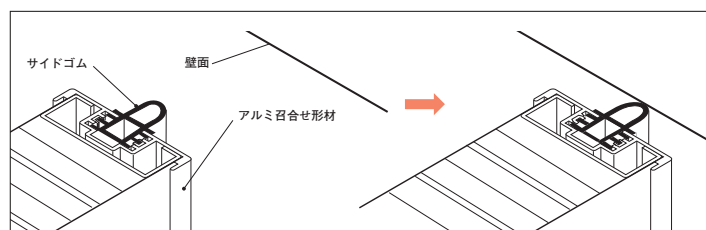
※操作する際には「取扱説明書」をよくお読みください。

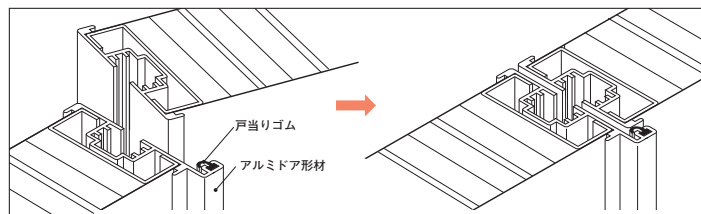
■サイドパネル ※SW-60SH-Pには、サイドパネルは対応しません。

ギヤー式（Gタイプ）

●パネル表面にサイドシール用と上下シール用の2つの操作口があり、各々操作ハンドルを差し込み、サイドシール、上下シールの順にパネルを固定します。

レバー式（Lタイプ）

パネルの召合せ

SW-60S-G　SW-60W-G　SW-60S-L　SW-60W-L　SW-60S-P　SW-60W-P

各部の納まり

■先頭パネル部

■ドアパネルの開閉部

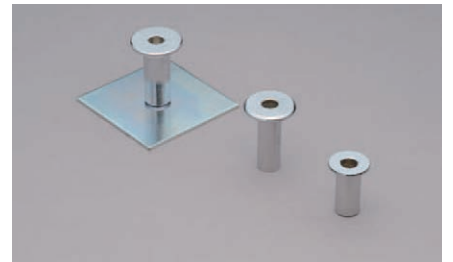
SW-60S-G　SW-60W-G　SW-60S-L　SW-60W-L　SW-60S-P　SW-60W-P

金　物

操作ハンドル

丸落とし(小口タイプ)

丸落とし(面付けタイプ)

点検口(クロスレール200見切り付きタイプ)

点検口 (クロスレール200見切り無しタイプ)

左から　つぼ(畳用)、つぼ(カーペット用)、つぼ(Pタイル用)

ボールキャッチ

戸当りゴム

パネルジョイントメジ(アルミ)

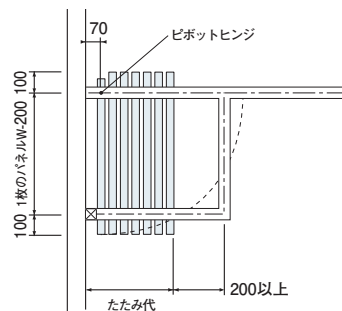
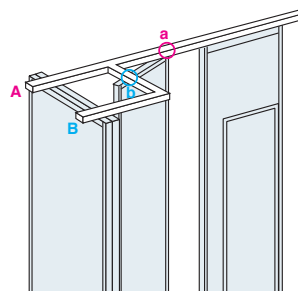
ケースハンドル(パネル正面)

操作口

格納方法

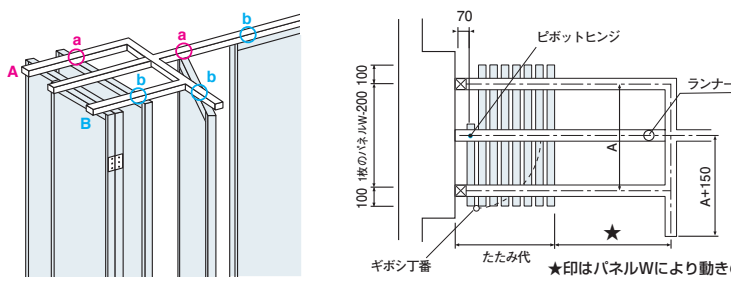
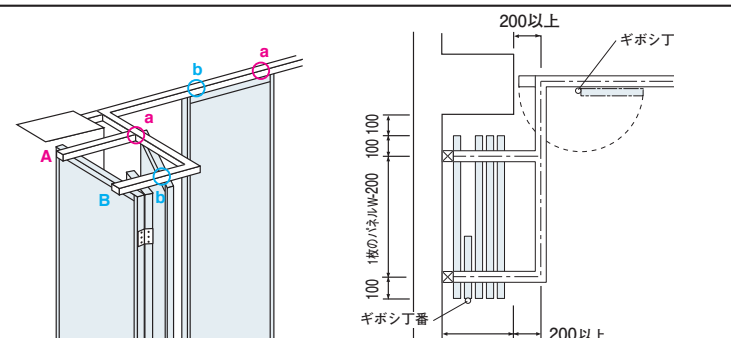
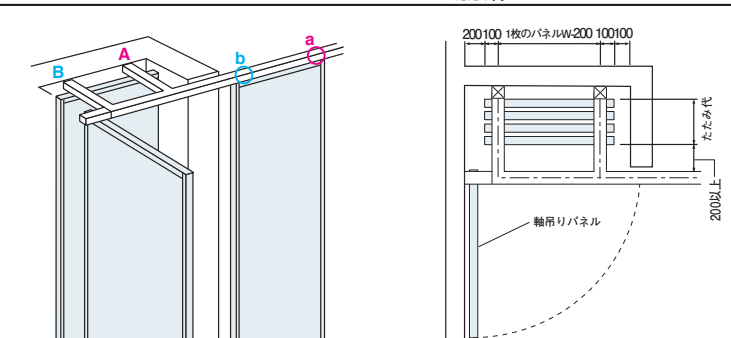
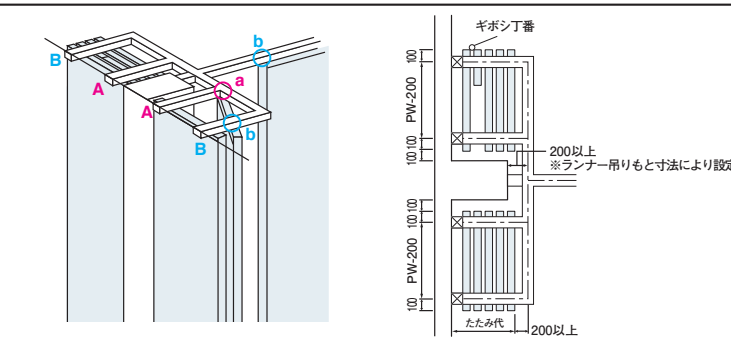
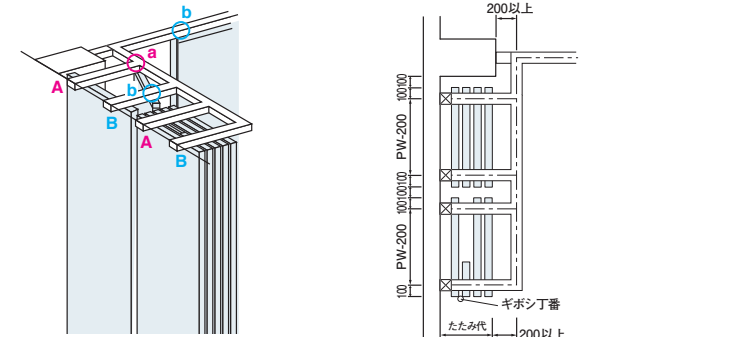
クロスタイプ　サイドパネル（サイドシール）がない場合

パネルに付いているa・bランナーは、それぞれA・Bレールに納まります。

A 型

スライディングウォール60 一般

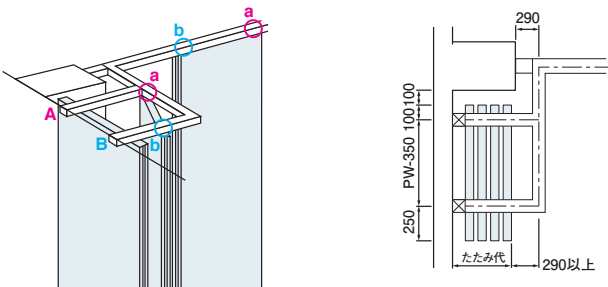
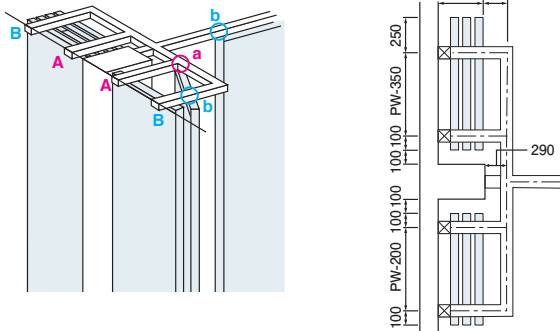
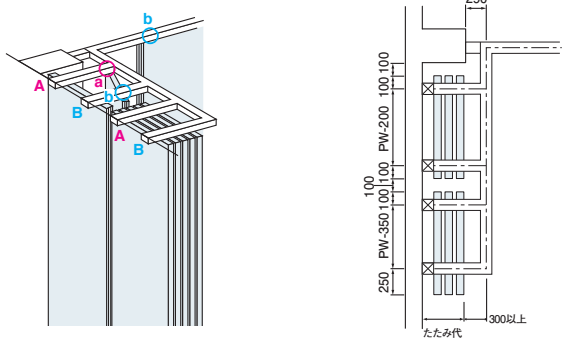
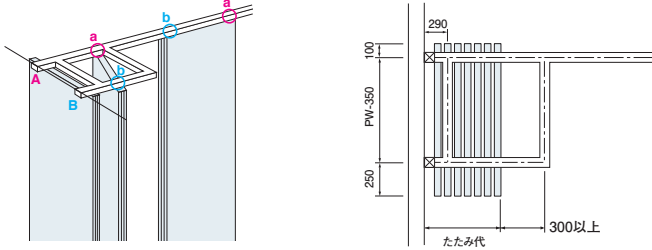
スライディングウォール **SW-60S-G**
スライディングウォール **SW-60S-L**
スライディングウォール **SW-60S-P**

S：パネル表面材がスチール製です。
G：シール方式がギヤー式です。
L：シール方式がレバー式です。
P：シール方式がプッシュボルト式です。

スライディングウォール **SW-60W-G**
スライディングウォール **SW-60W-L**
スライディングウォール **SW-60W-P**

W：パネル表面材が木製です。
G：シール方式がギヤー式です。
L：シール方式がレバー式です。（下部のみシールします）
P：シール方式がプッシュボルト式です。
（下部のみシールします）

格納方法

クロスタイプ

サイドパネル（サイドシール）がない場合
パネルについているa・bランナーは、それぞれA・Bレールに納まります。

単位：m/m

格納方法

クロスタイプ

サイドパネル（サイドシール）がある場合

パネルについているa・bランナーは、それぞれA・Bレールに納まります。

単位：m/m

スライディングウォール60 一般

スライディングウォール **SW-60S-G**
スライディングウォール **SW-60S-L**
スライディングウォール **SW-60S-P**

S：パネル表面材がスチール製です。
G：シール方式がギヤー式です。
L：シール方式がレバー式です。
P：シール方式がプッシュボルト式です。

スライディングウォール **SW-60W-G**
スライディングウォール **SW-60W-L**
スライディングウォール **SW-60W-P**

W：パネル表面材が木製です。
G：シール方式がギヤー式です。
L：シール方式がレバー式です。（下部のみシールします）
P：シール方式がプッシュボルト式です。（下部のみシールします）

構造図

パネル厚	商品名	表面板	芯材	パネル重量 kg/m²	製作可能寸法	
					PW	CH
60mm	SW-60S-G SW-60S-L SW-60S-P	カラー鋼板 0.5mm	せっこうボード 9.5mm	16(27)（標準パネル） 26(37)（ドア付パネル）（サイドパネル）	700～1200 550～1200（軸吊りパネル） 1000～1200（ドア付パネル） ※800～1200（サイドパネル）	～3000
	SW-60W-G SW-60W-L SW-60W-P	MDF 4.0mm	ペーパーコア	15（標準パネル） 25（ドア付パネル）（サイドパネル）		

※SW-60S-P、SW-60S-Lのサイドパネル幅は850～1,200です。
※パネル重量（　）内は芯材せっこうボードの場合。

標準パネル（60S-P）

標準パネル（60S-G）

ドア付パネル

サイドゴム PVC
ペーパーコア
召合せ形材 無着色アルマイト仕上
召合せゴム PVC
丁番
戸当り形材 無着色アルマイト仕上

A エンド部

B 召合せ部

C 丁番部

D 戸当り部

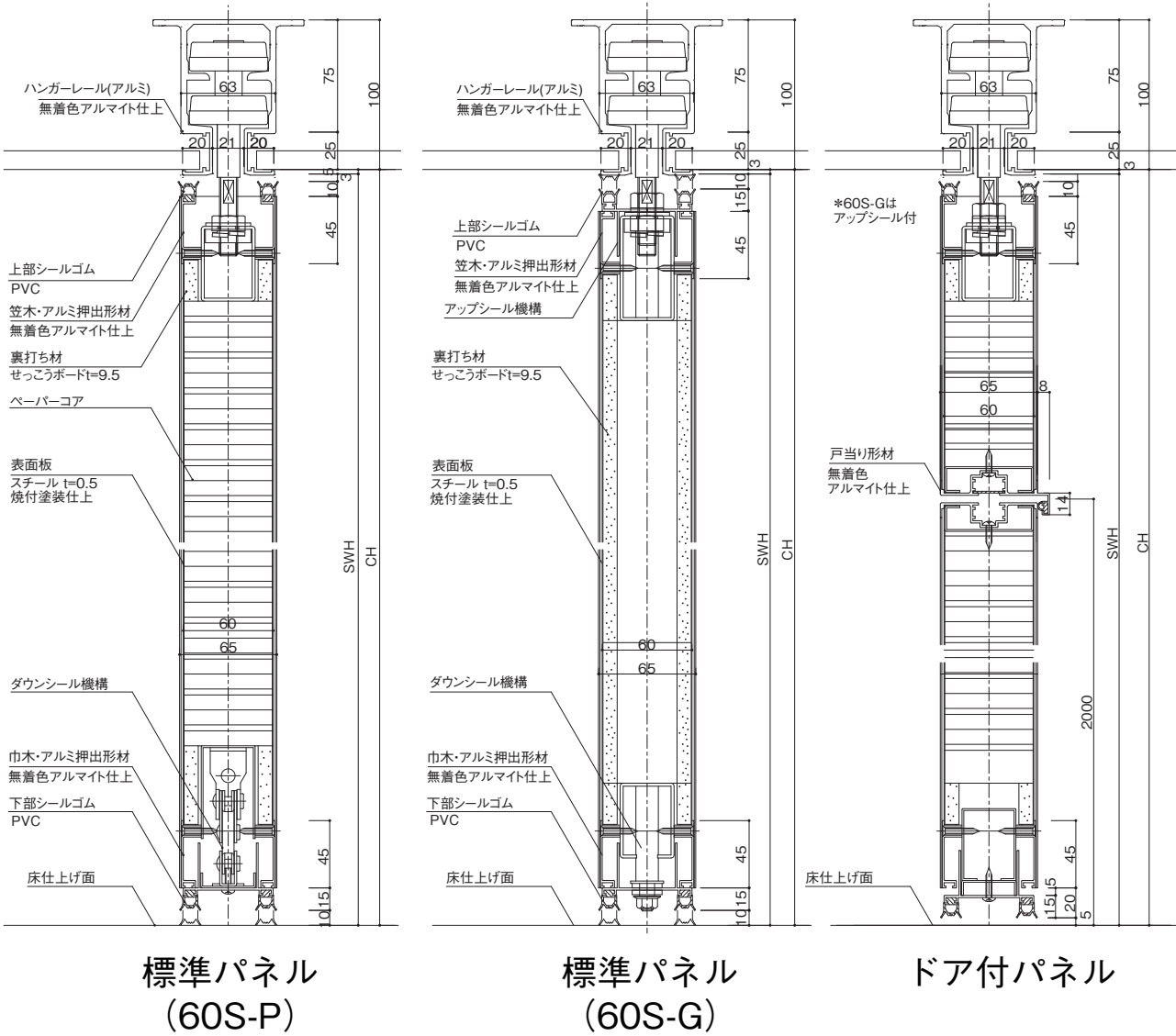
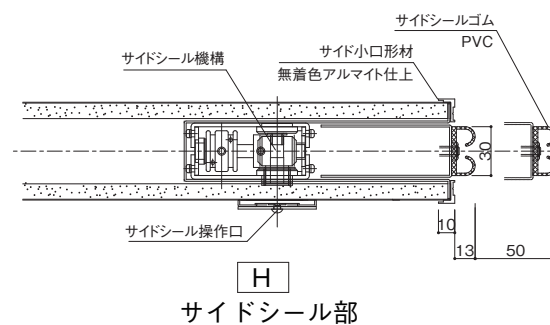
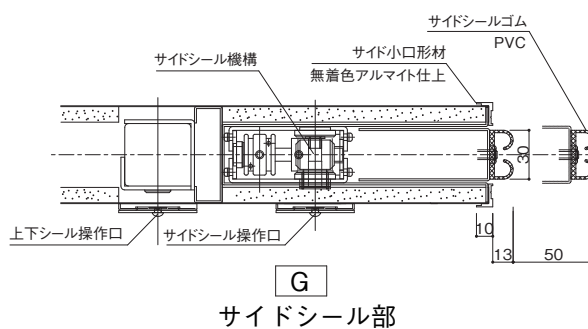
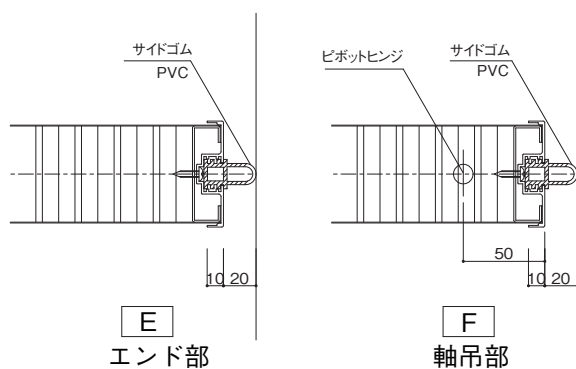
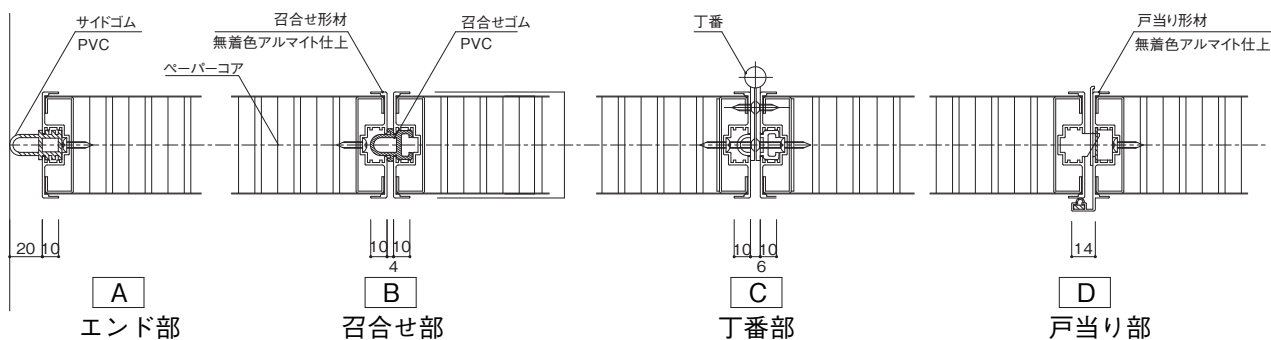
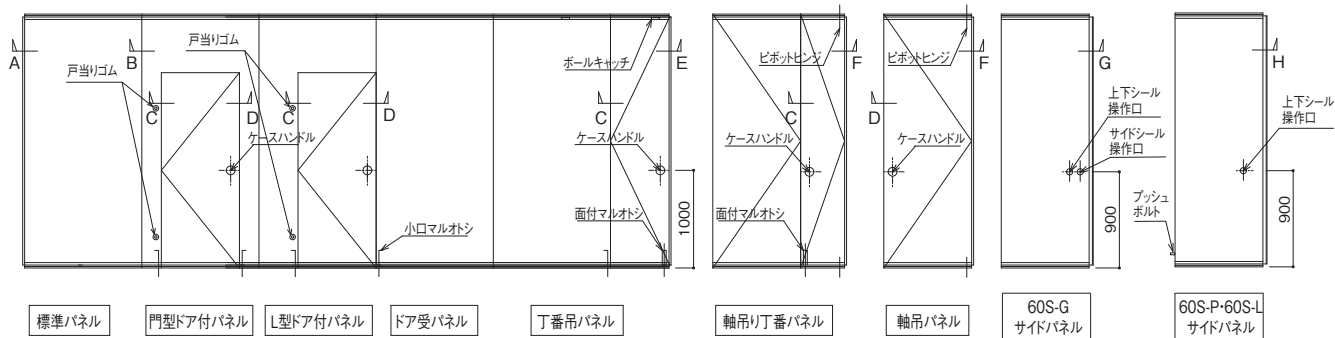
ピボットヒンジ

E エンド部

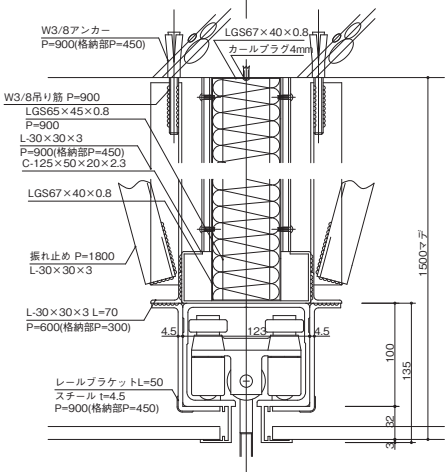
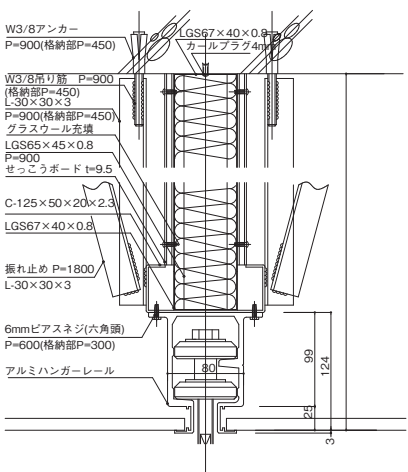
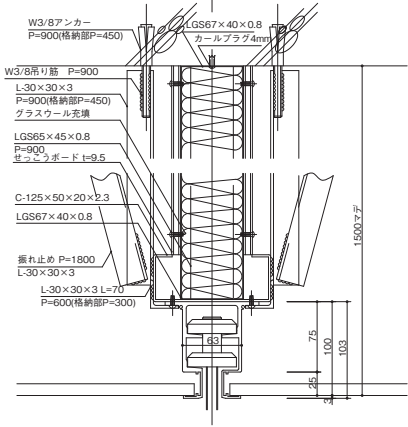
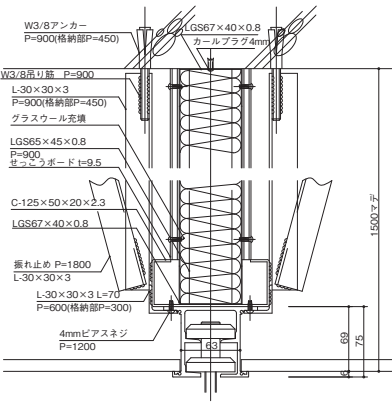
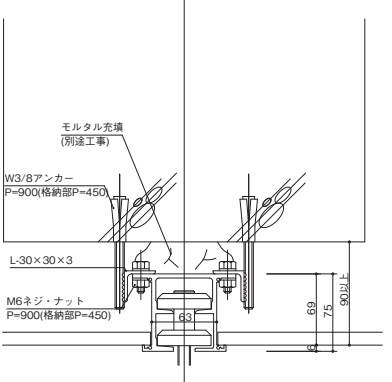
F 軸吊部

サイドシール機構
サイド小口形材 無着色アルマイト仕上
サイドシールゴム PVC
上下シール操作口
サイドシール操作口

G サイドシール部

H サイドシール部

※Lタイプ、Gタイプの奥打ち材は
せっこうボード仕様になります。

スライディングウォールのレール取付け工事

スライディングウォールの下地は重要なもので、特に”格納”部分に荷重が集中するため、パネル重量を考慮して堅固なものを用意する必要があります。現場の条件に合わせて、適切な工法をお選びください。また、天井内部には、さまざまの設備器具がありますので、スライディングウォールの取付けに障害となるものがあるかないか、充分チェックする必要があります。

●事前のチェックポイント

電源用配線・照明器具・配管スペース・空調用ダクト・火災報知器・スプリンクラー・消火栓・天井下地など障害物はないか充分調べる必要があります。

●パネル吊込みのポイント

吊りボルト接合部の緩み止めは充分か確認ください。スライディングウォールの作動時は振動を伴うため、長期間御使用されるとボルト接合部が緩む場合があります。

■遮音タイプ

■一般・展示タイプ

クロスレール　300	クロスレール　300A

見切り付き仕様

クロスレール　200

見切り付き仕様

見切り付き仕様

見切り無し仕様

見切り無し仕様

見切り無し仕様

施工図作成について

施工図作成にあたっては、次の資料をご掲示ください。

参考図面・・・平面図・矩計図・躯体図

注 ●間仕切り部分に障害物がある場合は、参考資料（例/天井伏図・設備図等）をご掲示ください。

ご注文に際して

次の点を事前にご指示いただくと、作業がスムーズに流れ仕上がりも美しくなります。

1.タ イ プ……………例）SW-60SB-L
2.寸　 法……………巾（W）・天井高さ（CH）・パネル割付巾（mm）
　または割付枚数
3.引分け方法…………片開き・両開き・その他
4.格納方法……………例）C型
5.表面仕上げの種類…標準仕様以外のご希望があれば、
　ご指示ください。
6.特殊な仕様…………特別なご希望があればご相談ください。
7.納　入　先…………会社名・住所・電話番号・受取人
8.納入予定日
9.パネルの搬入･揚重方法
10.その他…溶接電源の有無・足場・床壁の養生・作業時間の指定

スライディングウォール 製作工程図

見積提出
契　約
施工図作成
承　認
現場調査
改修工事の場合は、現場調査が必要です。搬入方法、設備機器との取合い、天井内部の状況、天井レベルの確認

レール製作
取付 レール下地工事
ハンガーレール下地工事の時期は、天井下地の前に施工することが最良です。天井下地工事が先行するとハンガーレール工事部分の天井解体およひ手なおしが必要です。

現場寸法測量
床及び壁の仕上がり後にパネル製作寸法を測定することが最良です。
パネル製作
レール取付を行ない、実測を行います。
現場調査
パネルの搬入方法･搬入時間・搬入経路を事前に確認します。
運搬揚重
搬入方法・搬入時間・搬入経路を事前に確認してください。
取　付

完了検査
取扱い説明と引渡し
アフターサービス

正常な作動のため、年に1～2度の定期点検をおすすめします。
※アフターサービスの窓口は、完成引渡し品に標示しています。
（ワッペン貼り付け）

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

●下記に示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、操作される方及び他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の 2 つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告：誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⃠ 注意：誤った取り扱いをしたとき、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例

⚠ 記号は、警告・注意を促す内容があることを告げる内容です。
図の中には具体的な注意内容が描かれています。

⃠ 記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警 告

	●パネルはゆっくりと動かしてください。 乱雑な操作は事故の原因となります。
	●異常を発見したまま使わないでください。 本体が壊れてケガをする恐れがあります。
	●パネルを方向転換する時は、ゆっくり動かしてください。 パネルが大きく振れて人に当たりケガをさせる恐れがあります。
	●分解禁止 分解や改造をしないでください。 破損やケガをする原因となります。

⚠ 注 意

	●パネルを動かす時は、周囲に人がいないことを確認してください。 パネルではさみケガをする恐れがあります。
	●パネルを動かす時は、壁とスキマや足元にご注意ください。 手や指・足をはさみケガをしたり、モノをはさみ傷つける恐れがあります。
	●パネルによりかからないでください。 パネルが動きケガをすることがあります。
	●シール（圧接）装置を無理に回さないでください。 手がすべりケガをすることがあります。
	●ドアやパネルにぶらさがらないでください。 破損によりケガをすることがあります。
	●操作孔や可動部のスキマに手や指をいれないでください。 ケガをする恐れがあります。
	●点検や清掃をする時は手袋などを使って行ってください。 ケガをすることがあります。
	●暖房器や火をそばに近づけて使用しないでください。 変形や火災の原因となります。